



6月11日・カメルーン対ドイツ戦 役場大会議室での応援

なかつえの人口と世帯 (6月末現在)

人口 1,366人 (+ 4)
 男 664人 (+ 1)
 女 702人 (+ 3)
 世帯数 500戸 (+ 2)

発行／中津江村
 編集／総務課企画情報係

もくじ

- 2・3P …… 市町村合併を考える
リレーシンポジウム123
- 4・5P …… 不屈のライオンを迎えて その1
- 6・7P …… 住民基本台帳ネットワークシステム
8月5日 一次スタート
- 8P …… 改正道路交通法が施行
- 9P …… タイラズ・ワールド
- 10・11P …… お知らせ
- 12P …… 道路愛護作業のお願い

市町村合併を考える

リレーシンポジウム123

六月十七日、村民ホールで開催された日田郡合併協議会準備委員会主催による日田市郡1市2町3村を結ぶ討論集会『リレーシンポジウム123』には村内から約一二〇名の方が会場を訪れました。シンポジウムは九州大学教授・石川捷治氏の講演が行われた後、村長、五人の村民代表、パネリスト、大分県庁・大塚推進監による討論会が開催されました。

なお、当日は参加者へのアンケート調査も行われ、様々な意見が集まりました。



村民を代表したパネリスト

川	良	眞	二	さん	(自治会長)
矢	野	シノブ	さん	(婦人会)	
永	瀬	正	さん	(農林業)	
渡	邊	志	さん	(青年団)	
松	野	穂	さん	(商工会)	
		洋	さん		

参加者からの意見(アンケートより)

● 住み良いまちづくりのために、行政は連携のとれる体制を確立していただきたい。

(二〇代男性)

● いろいろ問題があるようだが、合併に同じ労力を費やすなら、小国町との合併も検討すべきではないか。住民生活を考えれば、日田市郡の合併よりベストだと思う。

(四〇代男性)

● 日田市中心の合併になるのが心配、細部にわたるサービスも心配。

(四〇代男性)

● 「これからの中津江村をどうするのか」を決めて、合併の是非を決めるべきである。

(四〇代男性)

● 合併の具体的なものを出すべきだ。財政面を全面に出しすぎではないか。

(五〇代男性)

● 多様化する住民の要望、自治体の財政危機を考えると合併はやむをえないと思う。ただし、遠隔地住民にサービス提供を効率よくできるか十分に検討が必要。

(五〇代男性)

● 自主財源の乏しい村では、統合もやむを得ない、これ以上行政サービスを低下させることはできない。

(六〇代男性)

● 日田市が中心になれば役所が遠くなり困る。大山町の道路が悪い、これも困る。

(六〇代男性)

● 「財政力だけの合併」の感じがして仕方がない。現在のままで何とか打開できないかと思う。

(六〇代男性)

● 中津江村は水源山村であり、下流域の人達との交流をさらに推進し、財政的な支援を受けてこのままの村でありたいと思う。

(六〇代男性)

● 村当局は村民との議論の場を積極的に進めて欲しい。準備委員会への参加自体も議会だけに諮^{はか}っているのではないか。

(六〇代男性)

● 県の示した合併パターンでは、自治体間(日田市郡内)の財政規模があまりに違うし、今の任意協議会から法定協議会に移る段階で疑問があり、合併して一〇年間は良いにしても、その後

■アンケート結果

1. 性別	男性									
	67									
2. 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	
	0	1	2	8	12	31	11	1	1	
3. 職業	1.農林業	2.自営業	3.会社員	4.公務員	5.主婦	6.その他	7.無回答			
	24	12	3	12	0	15	1			
4. 参加意識	1.積極的に参加したい			2.なるべく参加したい		3.参加したくない		4.無回答		
	36			30		1		0		
5. 重点施策	1.産業振興		2.生活基盤		3.地域福祉		4.無回答			
	50		40		39		0			
	4.教育文化		5.環境衛生		6.行財政改革		7.その他			
	18		16		19		1			
	7.その他		8.無回答		0		0			
	1		・森林環境税		0					



1. 性別	女性									
	15									
2. 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	
	0	1	3	2	5	2	1	0	1	
3. 職業	1.農林業	2.自営業	3.会社員	4.公務員	5.主婦	6.その他	7.無回答			
	0	2	4	5	3	1	0			
4. 参加意識	1.積極的に参加したい			2.なるべく参加したい		3.参加したくない		4.無回答		
	3			12		0		0		
5. 重点施策	1.産業振興		2.生活基盤		3.地域福祉		4.無回答			
	8		9		6		0			
	4.教育文化		5.環境衛生		6.行財政改革		7.その他			
	4		2		0		1			
	7.その他		8.無回答		0		0			
	1		・日田市郡以外との合併		0					



が心配である。十数年後に合併しなかった方が良かったという結果にならないようお願いしたい。

(六〇代男性)

●日田市が住民投票を考えているようですが、NOと出た場合の対応はどうなるのか。日田市と町村では行政単位が違うので統合する場合の取扱いはどうなるのか。

(七〇代男性)

●ソフト面の充実が一番大事だと思います。人が納得でき、充実できるように。

(三〇代女性)

●小規模の良さを残すために、アメリカの州制度のように、できるだけ各市町村の自治権を残し、「一部合併」みたいな合併の方法はないのでしょうか？

(三〇代女性)

●「農村文化村」として都会とは違うコンセプトで南小国町、小国町、上津江村との合併を希望します。

(四〇代女性)

●若い人が参加できる集会を。わかりやすいテーマで何度も協議を。この問題に村で取り組めたか否かがこれからの村づくりに差がつく。

●村の協力が薄れていくような気がする。一〇年もしたら若い人は日田の方に、高齢の人達だけが残る気がします。

(五〇代女性)

●この他にも多数のご意見をいただきましたが、紙面の都合上、全部を掲載することができませんでした。

また、掲載した分につきましても部分的に他の意見と重なる部分は割愛させていただきました。なお、合併の賛成、反対に関わらず様々な意見を掲載しております。ここに掲載した意見が賛成、反対の割合を示すものではないことをご理解ください。



不屈のライオンを迎えて

その1

日本中が感動に包まれた2002 FIFAワールドカップはブラジルの五回目の優勝で幕を閉じた。ブラジルチームのキャプテン、カフォーが黄金のワールドカップを高々と掲げた時、中津江村民の多くが、「六月十一日、カメルーンがドイツに勝利していたならば」と思いを巡らしたのではないだろうか。

カメルーンの中津江村キャンプが決定したのは昨年の十一月末、一次リーグの試合会場が韓国、日本のどちらになるとも判らない状況でのキャンプ地決定に誰もが驚いた。

また、そこから始まった報道機関の取材攻勢は凄まじく、一月末にはある大手広告代理店が一〇億円の宣伝効果と評した程であった。

一月七日、役場内にカメルーン中津江村ベースキャンプ推進本部が開設され、キャンプ受入施設である鯛生スポーツセンターと役場内に設けられた推進本部事務局とで受入準備が行われることとなった。業務は大きまかに言うると二つに分けられ、鯛生スポーツセンターはキャンプ実施に必要な施設と運営体制の整備、推進本部事務局はそれ以外の対応を行うことになった。

通訳ボランティアの確保

カメルーンの公用語はフランス語であり、村内で会話ができるのは国際交流員一人である。誰もが真っ先に危惧する問題であった。しかし、この問題はキャンプ地中津江村を紹介したテレビや新聞を見た全国の人々も同様の思いであったようで、まだ公募も行わない二月上旬でも、全国各地から多数の通訳ボランティアの申し出を受けた。

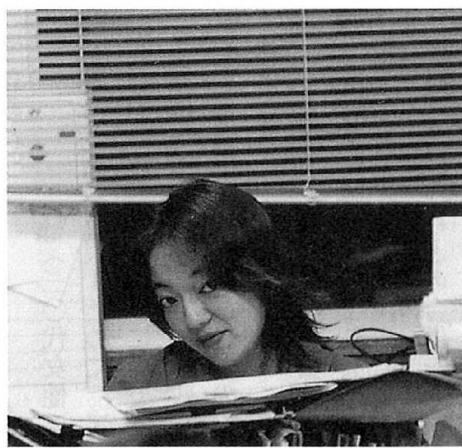
北村香さんの参加

そうしたボランティアの中に北村香さんがいた。北村香さんについては改めて説明する必要もないかと思うが、以前はテレビ局に勤務されており、留学や仕事での滞在等、フランス、ドイツでの生活も長く、フランス語が堪能であった。

ボランティアを申し込んだ時、北村さんは事故による傷も癒え、社会復帰のためのリハビリも兼ねて、中津江村でのボランティアを申し出られた。北村さんはフランス語が話せるだけではなく、各種の大きなイベントにスタッフとして参加した経験やテレビ局勤務で得たマスキミ対応、選手の食事対応の基本となるフランス料理にも造詣が深かった。

またスタッフ用の対応マニュアル作

成を指示する等、そのアドバイスは的確であり、推進本部事務局の中での参謀的な役割も果たしていた。さらに深夜勤務が続いたキャンプ直前から終了までの期間は役場に泊まり込みで働き、その姿に推進本部事務局の職員も大いに感化された。

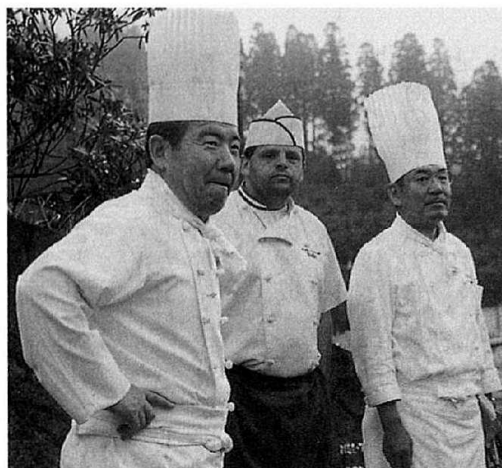


準備の遅れ

スポーツセンターの受入準備を行ううえで食事に対する準備は楽観的なのであった。

なぜならば三月二日、最終視察に訪れたモハメド・イヤ協会長やビンフォード・シエーファー監督等との協議の際、カメルーンの料理人がチームに帯同すると説明されていたからである。

ただし、メニューはフランス料理であったため、料理を盛る器を新たに準備する必要があった。しかし、どのような種類で、どの程度の器をどうやって調達するのかは誰にも分からなかつ



▲左はしの人物が高橋さん

そこで急遽、高橋さんに相談、器を含めた食事の対応についての指示を仰いだ。

高橋氏はこの申し出に快く応じ、三月半ば東京近郊の自宅から遠路、中津江村へと赴かれた。

中津江村に到着するとすぐに高橋氏は「キャンプの時に対応されるスポー

た。この問題を解決してくれたのもボランティアであった。通訳のボランティアに申し込まれた高橋和子さんの自己紹介文にはご主人のことも書いてあり、夫妻は毎年フランスに渡り、一年の半分はフランスで生活されていると書かれていた。ご主人の名前は高橋修さんと言い、ホテルニューオータニの料理長を務められた経歴も記されていた。北村さんに相談するとフランス料理の世界では有名な方だと教えられた。

ツセンターの料理長はどなたですか」と尋ねられた。

キャンプ期間中はチームに帯同するカメルーン人シェフに任せると話すと高橋氏の表情が一瞬曇り、「それはどうでしょう」と言って、次のような説明をされた。

チームから渡されているメニューについては特別難しい料理があるわけではないが、様々な準備を行うためには少なくとも一週間程度の時間が必要であり、もしそれが終わっていればチームと一緒にシェフが到着した時、そのシェフのする仕事は無いはずである。

更に、アイルランドが宿泊する千葉市のホテルでは既にプロの料理人達による準備計画が行われていること。実施にあたってはシミュレーションが必要なこと話された。

この状況下、誰もが高橋氏に頼るしかないと思つたが、またしても高橋氏の口から厳しい言葉が発せられた。

「ボランティアというのは元々、その仕事の責任を全うする人が存在し、それを手伝うのがボランティアではないでしょうか。仮に皆さんが私に厨房を取り仕切ることを望まれても私には体力的な問題もあり、対応は困難です。」誰もが大幅な準備の遅れと必要なスタッフの見落としを自覚、安易なボランティアの活用がとてつもない誤りであることを知った。

しかし、高橋さんがそのまま中津江村を見放すことはなかった。高橋氏は方々に連絡、ホテルニュー

オータニに勤務していた時の後輩、山田氏をはじめ三名の料理人を確保、結局は高橋氏自身も厨房に入り、腕をふるった。

また、食材の手配、食器の調達についても費用を考慮しながら様々なアドバイスをいたした。

**スター軍団が見せた
意外な素顔**

カメルーンの中津江村到着は当初の予定を五日も遅れて到着、しかも到着した時間は五月二十四日の深夜三時であった。

誰にも予想できない出来事であるが、その兆候はあった。

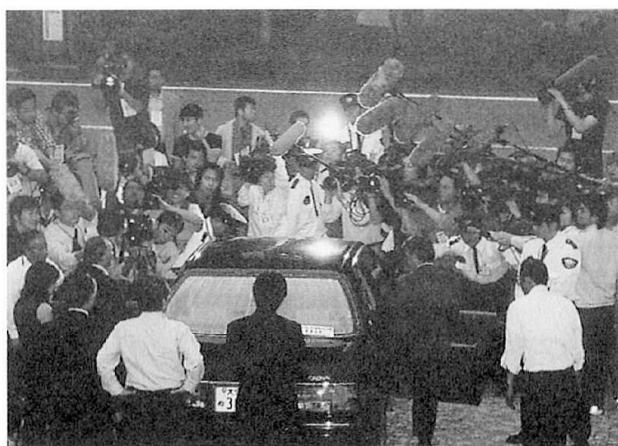
当初の到着予定日であった十九日の十日前になつても到着空港、飛行機の便名は知らされておらず。チャーター便の着陸許可申請が出ていないと国土交通省から村に連絡されていた。

その間、国際交流員タイラー・ラツセルがチームへの連絡をとうとうと様々な努力を試みたが容易に連絡がつくことは無かつた。

そうこうする内に、パリを出発する日がやって来た、しかし、予定の時間を過ぎてもカメルーン航空機がパリ・ドゴール空港を出発することはなかつた。

なお、その後の経過については皆様もご承知のとおりである。

この間、報道機関の取材攻勢はより一層激しさを増し、脅威にさえ感じられた。



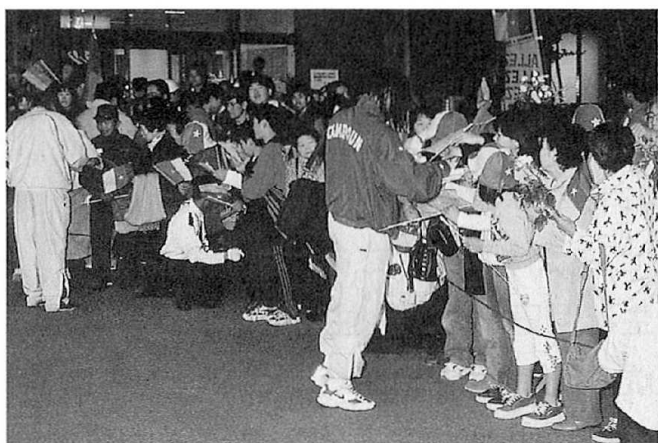
そして、いよいよ到着の時が来た、選手団一行受入のために、二十三日の午後二時頃、福岡空港国際線ターミナルに着くと、そこには大勢の報道関係者が待ち構えていた。役場前にも相当数の報道関係者が詰めかけていたのを思い出し、カメルーンチーム到着の遅れが社会的関心時となつていゝことを実感した。

午後十一時四十分、村長、議長がカメルーン航空チャーター便に取り付けられたボーディングブリッジに入り、選手団一行を出迎え、先頭を歩くイヤ会長と堅い握手が交わされた。その後一行が入国手続きを終え、空港ビルを出ようとする福岡県警から待機を指示された。

空港ビル横に停車してあつたバスの周りにまで報道陣、見物人が押し寄せていたのである。その後、福岡県警は

急遽、大量の警察官を導入、しばらく待つてバスまでの通路は確保された。選手団が二台のバスに乗り込み、バスが動きだす。しかし、見物人はバスから離れず、バスの側面を叩いて選手団を振り向かせようとする者が大勢いた。このような行為がエスカレートしたとき観衆はフリーガンと化するのではなにかと感じた。

深夜三時、バスはスポーツセンターに到着、大勢の村民が暖かく選手団を出迎える姿が報道機関によつて全国へと伝えられたが、長旅の疲れも見せずサインや握手に笑顔で応じた選手団の態度に驚いた人も多かつたのではないだろうか。



(次号に続く)

住民基本台帳ネットワークシステム

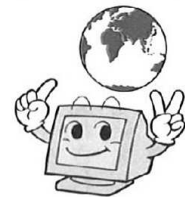
8月5日

一次スタート

本年8月5日、住民基本台帳の全国ネットワークが稼働します。

住民基本台帳法の改正により、本年8月5日より住民票に個人コード（番号）を記載する住民基本台帳ネットワークシステムが稼働します。

住民基本台帳ネットワークシステムは、4情報（氏名・生年月日・性別・住所）と住民票コード（11桁の数字）により、全国どこでも本人確認ができるシステムです。住民票コードは、8月5日以降、役場から1世帯ごとに郵送で通知されます。通知された住民票コードは、今後、行政機関への届出、申請に必要となりますので、なくさないように大切に保管してください。



住民票コードについて

- ・住民票コードとは、氏名・生年月日・性別・住所を管理するために付けられる全国統一の11桁の数字です。（同じ番号はありません。）
- ・平成14年8月5日以降、新たに住民票コードが個人ごとに設けられます。
- ・住民票コードは、市区町村に申し出ることにより変更できます。
ただし、希望する番号どおりにはなりません。
- ・住民票コードを民間が使用することは法律で禁止されています。
- ・住民票コードは、4情報（氏名・生年月日・性別・住所）のみを管理するための番号で、国民総背番号のための番号ではありません。

本年8月5日からスタートの第1次サービス

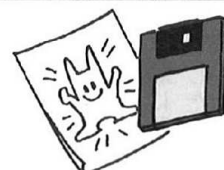
- ◆市区町村ごとに保有している住民票情報のうち本人確認情報〔4情報（氏名・生年月日・性別・住所）、住民票コードとこれらの変更情報〕を行政機関へ提供します。



- ・行政機関への申請・届出を行う際、住民票の添付の省略が可能となります。
例) 年金・恩給の現況届の廃止、年金給付請求時の住民票の省略（15年3月予定）

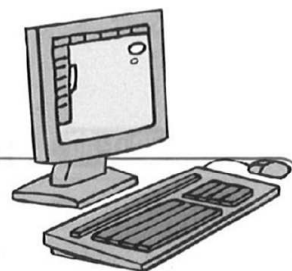
平成15年8月からスタート予定の第2次サービス

- ◆住民基本台帳事務の効率化を図ります。



- ・住民票の写しの交付が全国どこからでも受けられます。
注) この場合の住民票の写しについては、戸籍の筆頭者の氏名、本籍地の記載はありません。
- ・住民基本台帳カードを利用し、引っ越しの手続きが簡略化されます。
……転入転出の手続きが転入時の1度だけでよくなります。

- ◆住民基本台帳カードの交付が始まります。



- ・転入転出の手続きが簡略化されます。
- ・住民基本台帳カードの交付は希望者のみの予定です。

改正道路交通法が施行

運転免許証の利便性の向上と、悪質交通違反の罰則強化などを盛り込んだ改正道路交通法が六月一日から施行されました。

◎免許証の有効期間延長
免許証の有効期間が原則として五年になりました。

・初心運転者、七十一歳以上の方、軽微な違反を二回以上または重大な違反を行った方は三年

・七十歳の方は四年です。

◎免許証の更新期間延長

誕生日の一ヶ月前から誕生日の一ヶ月後までの間に、手続きをすればよいことになりました。ただし、更新期間延長が適用されるのは、誕生日が本年の七月一日以降の方です。誕生日が六月三十日までの方の有効期限は免許証に記載のとおりです。

◎住所地以外の都道府県で

優良運転者は、誕生月の一ヶ月前から誕生日までの間に經由申請ができます。詳しくは、警察本部運転免許課にお問い合わせください。

◎障害者に係る免許の

欠格事由廃止
精神病やてんかん等にかか

が対象です。

◎高齢者講習の変更

受講対象年齢が七十五歳から七十歳に引き下げられました。高齢者講習は、更新期間が満了する日前の三ヶ月以内に受講しなければなりません。小型特殊免許のみの取得者に対する高齢者講習が新設されました。一般の高齢者講習が三時間であるのに対し、小型特殊免許のみの取得者講習は二時間です。

七十歳以上の方について、実際にコースで自動車の運転をしてもらい、加齢に伴う身体機能の低下が影響を及ぼしていないかどうかを確認するチャレンジ講習制度が新設されました。合格すれば、更新時の高齢者講習は一時間でよいこととなります。

◎運転経歴証明書の

自主的に免許の取消しを申請し、免許の全部を取消された方が対象です。申請による免許の取消しを受けた後一ヶ月以内に申請してください。

◎その他の改正点

・大型二種免許、普通二種免許の技能試験に路上試験が導入されました。大型二種普通二種免許試験に合格された方には、旅客者講習、

応急救護処置講習の受講が義務づけられました。

●指定自動車教習所で、普通一種免許と同じように大型二種、普通二種免許の教習・検定制度が開始されました。

●悪質危険な違反行為に対する行政処分が強化されました。

☆主な改正点

●極めて悪質な運転者に対しては、一回目の取消しであっても五年の欠格期間が指定できることとなります。

●悪質危険な違反行為に対する点数が引き上げられます。

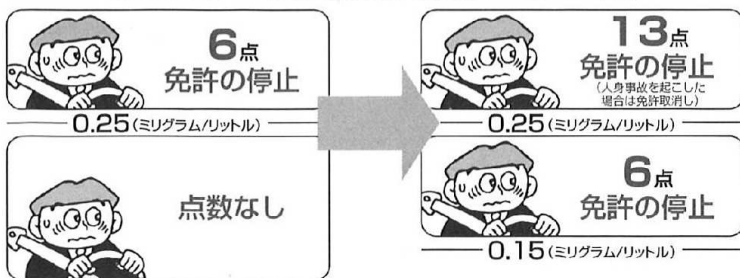
●そもそも酒を飲んで車を運転することは違反ではありませんが、これまでの酒気帯び運転の定義は、アルコール分が呼気一リットル当たり〇・二五ミリグラム以上の場合に限られていました。現にアルコール臭があっても規定値未満なら処罰されることはありませんでしたが、今回の改正で基準が厳しくなり〇・一五ミリグラム／リットル以上になりました。翌朝も臭いのするようにな深酒は、今回の改正で処罰の対象になる恐れがありますので、飲んでから時間が経っているから大丈夫だろ

うという考えは通用しなくなります。万一そんな状態で人身事故を起こしたら免許は取消しになります。もとより飲酒運転は、罰則が強化されたからやめようというものではありません。酒飲みの方、被害者の身、どちらの身になって考えなければならぬ問題かは言うまでもありません。飲酒運転追放に向けての更なる取り組みの徹底をお願いします。

改正前

酒気帯び運転

改正後



Tyler's world



『中津江 Let's GO!』

5月30日の午前9時30分、カメルーン航空の2回目のチャーター便が予定時間より大幅に早く福岡空港に到着しました。

乗客はカメルーン共和国の政府関係者でした。

76名からなるその政府団の中には19名のカメルーン共和国文化省の文化応援団も含まれていました。

その文化団の荷物を見たとき大変驚きました。19人で簡単に運べるような荷物の量ではなかったのです。30人でも運べないような感じでした。

更に一行はその荷物を持ち、そのまま新幹線で富士吉田に移動することを希望したのです。

しかし、富士吉田市に連れて行けるガイドはいませんでした。

村長と出迎えに行った僕はその団長に頼まれ、富士吉田までの同行を要請されました。

そして僕の25日間のカメルーンアドベンチャーが始まったのです。

富士吉田市に着いてみると、富士吉田市では文化団が来ることを知らされていないことがわかりました。

文化団受入れの体制が一切なかったのです。それから文化団のために市内のビジネスホテルを一晚予約したのですが、結果的には僕も一緒に、そのまま10日間滞在することになりました。

その時、彼等がホテルのフロントと交渉するのを見て、ビックリしたことが2つ、カメルーン文化団長は先に支払いをしたがりました。

しかも現金で!!

皆の予約を終えたとき僕はこれで中津江に帰れると思いました。

しかし、彼等はずっと僕が驚く行動に出たのです。なんと僕の部屋も10日分予約してしまいま

した。(僕はたまっていた代休を彼等のために使わざるを得ない状況になりました。)

彼等は文化団と言っても、日本人が考える普通の公務員ではなかったのです。

彼等はカメルーンの優秀なダンサーやミュージシャンであり、身分が公務員であったのです。彼等は本当に凄い人達でした。

富士吉田市に着いた翌日、新潟のアイランド戦に連れていかれた僕は会場の中はもちろん、会場の外でもすばらしい演奏する彼等の姿をみることになりました。

次の日の新聞には彼等の写真がいっぱい載っていました。

その後、ドイツ戦が終わるまでの毎日、彼等の様々なイベントを手伝いました。

富士吉田市や川口湖町にある太鼓団との交流、学校訪問、TV出演、CD製作、会場プレイベント演奏など。最終的には19人分の通訳/コーディネータを20日間ほどやりました。凄い20日間でした。

しかし、同時に中津江村にもカメルーン文化団を連れて行きたいという思いが止みませんでした。彼等の音楽や踊りがすばらしかったのは言うまでもありませんが人間としても素晴らしかったのです。

いつか機会があったら何らかの形で中津江村の人にも紹介したいと思います。

最後になりましたが皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

すみません。

Tyler

日田地方振興局 企画商工課
eメール

<http://www.oitayumefesta.jp/>

問い合わせ先:

第20回全国都市緑化おおいたフェア実行委員会事務局
TEL 097-536-1111
(内線4736)

**平成14年度
初心者狩猟
講習会の開催**

日時:

甲種/7月31日(水)
10時~17時

乙・丙種/8月1日(木)・2日(金)
10時~17時

場所:

大分市大字下郡
「大分県教育会館」

講習内容:

法令、狩猟鳥獣の判別、猟具の取扱い、実技

受講料:

甲、乙、丙、乙丙は、
各々7,000円
甲乙、甲丙、甲乙丙は、
各々9,000円

受付期間:

7月23日(火)

申込み先:

日田郡猟友会
TEL 23-4064

豊の国ぶんご村めぐりスタンプラリー

今年で4回目となるぶんご村めぐりスタンプラリーが現在開催されています。専用のリーフレットに大分県内11村全部のスタンプを集めると10万円分の旅行クーポン券をはじめ各村の特産品が当たります。各村のポイント箇所のほとんどは観光施設内にあります。夏休みはどこに行こうかと迷われている方、是非一度ご参加ください。

実施期間

11月30日まで

リーフレット配布

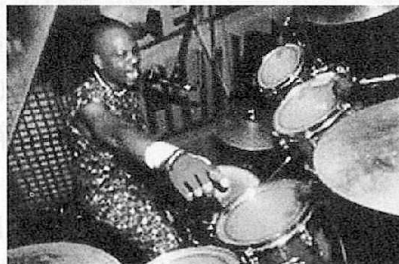
鯛生金山に備えてあります。

賞品

- ・旅行クーポン券・10万円分
- ・ぶんご村宅配便賞(特産品が毎月届く!!)

今年の中津江は音楽のワールド杯だ

～第23回中津江ミュージックフェスティバル～



8月10日・出演者

- ・平田達彦
- ・劉福君
- ・ハル
- ・フローレス・デュオ 他

8月11日・出演者

- ・ワッシー・ビンセント
- ・金山太鼓若鼓衆
- ・光玄
- ・カルロス・オルテガ
- ・インディー 他

会場: 栃原グランド

入場料: 4,000円

問い合わせ先:

ミュージックフェスティバル
実行委員会事務局(役場内)
TEL 54-3111

- 社会福祉協議会へ (香典返し) 合谷テル子 様 一〇、〇〇〇円
- 谷部 辰男 様 三〇、〇〇〇円
- 牛島 末浩 様 三〇、〇〇〇円
- 〈見舞返し〉 中元 直 様 五〇、〇〇〇円
- 原公民館へ (香典返し) 古澤 彦常 様 三〇、〇〇〇円
- 原部公民館へ (香典返し) 川津三千尋 様 五〇、〇〇〇円
- 川辺老人クラブへ (香典返し) 川津三千尋 様 二〇、〇〇〇円
- 野田自治会へ (見舞返し) 三笠美希栄 様 二〇、〇〇〇円
- 川辺ゲートボール場へ (一般寄付) 二〇、〇〇〇円

御寄付お礼

お知らせ

畜産後継者養成 研修生募集

募集定員：5名

研修期間：1年（全寮制）

研修内容：

家畜人工受精師免許、農耕用大型特殊免許、農耕用けん引免許等の取得、先進地視察研修
願書受付期間：

9月～12月末日まで

問い合わせ先：

大分県畜産研修センター

直入郡久住町大字久住3989-1

TEL 0974-76-1216

自衛隊各種学生募集

募集種目：

防衛大学校学生、防衛医科大学校学生、看護学生

受付期間：

9月12日～10月11日

応募資格：

○防衛大学校学生、防衛医科大学校学生

高卒（見込み含む）・

21歳未満の者

○看護学生

高卒（見込み含む）・

24歳未満の者

申込み・問い合わせ先

自衛隊日田募集事務所

日田市南元町5-18

TEL 0973-24-0809



ふれあい森林講座

夏休みの半日を林業試験場で遊んでみませんか？

日時：7月30日（火）

9：30～12：30

場所：

日田市大字有田字佐寺原

林業試験場

対象者：

日田市郡内の小学生・保護者

講座内容：

1. 自然観察、
ネイチャーゲーム
2. 森林科学実験
3. 工作体験

参加申込：

電話でお申し込みください。

TEL 22-2146

ゴミの特別受入について 日田清掃センター

日田清掃センターではお盆前の大掃除による一般ゴミの増加に対し、清掃センター及び最終処分場を開設し特別受入を行います。

開設日：8月11日（日）

受付時間：

午前8時30分～12時まで

受入対象：

直接搬入される家庭ゴミ
事業系一般廃棄物

（許可業者搬入可）

山村フォトコンテスト

テーマ：

『日本のふるさとと美しい山村』
山村における生活、祭事、美しい山村の景観など幅広い分野を対象とし、生活感・季節感あふれた山村の姿を伝えるもので、

山村の「魅力」と、未来への活力の「いぶき」を感じさせるもの。

募集締切：9月30日

応募サイズ：

カラープリント四つ切

（デジタル写真不可）

応募方法：

応募票を配布（役場総務課）

主催：

農林水産省、全国山村振興連盟

その他：

上位入賞者には副賞（20万円～5万円程度）を授与

ふれあい 花緑教室開催

日時：8月8日（木）

午後1時～3時

場所：黎明館

講座：押し花

募集人数：30名

受講料：無料

対象者：日田市郡在住者

応募締切：7月25日

申込方法：

往復はがき又はインターネット（住所、氏名、電話番号、性別、年齢をご記入ください。）

申込先：〒877-0004

日田市城町1-1-10



池の山
平野野

牛島 肇
谷部 正辰
合谷三 四夫
長見元 弘
野野野 様 様 様 様

慶
弔

宮部 佑吉 様
イス（ダブル） 6脚

道路愛護作業への

ご協力をお願いいたします

実施日
7月28日 午前中

■作業区域

集落長さんの指示に従ってください。

(七月三日の集落長会議で確認)



■用意するもの

・刈り払い機、鎌、クワ、てみ等を用意してください。

・(拾ったゴミ、空缶等はきちんと分別し役場が用意したゴミ袋に入れ、各地区のゴミ集積所に集めてください。翌日回収します。)

■作業謝金について

・作業謝金は、一人二、〇〇〇円です。

・(二日以上作業しても参加一回とみなします。)

・なおゴミ、刈り取った草を運搬する軽トラック、刈り払い機、チェーンソーを持ち込んで使用した場合には、機種を問わず一台当たり一律五〇〇円を支給しますが、必要最低限の台数に抑えて下さい。

■その他

・作業開始直後より、役場建設課の職員が各地区を回って作業謝金の支払いをしますので、集落長さんは印鑑を忘れずにご用意ください。(その際集落長さんは、参加人員と使用した機械を職員に教えてください。)

・作業範囲については別紙のとおりとなっておりますが、当日午前中に作業が終了しきれない地区もあると思います。その場合は無理のない程度の作業をお願いします。

・国道道沿い等交通量の多い場所での作業、刈り払い機を使用している作業においては、ケガ、事故等のないよう周囲に充分注意して行ってください。

■お願い

参加人員については七十五歳までの方で作業可能の方とします。また、いくつかの集落では、出不足金等の規定を設けているようですが、道路愛護作業はあくまでもボランティア(奉仕活動)です。作業の趣旨をご理解の上、よろしくお取り計らい下さいませようお願いします。

編集後記

あわただしかつたカメルーンチームのキャンプが終了、キャンプ推進本部事務局の残務整理を行い、六月末には元の部署へと戻っていたが、村を訪れる報道関係者が途絶えることはなく、電話での取材や一般の人からの問い合わせにに応じていると一日があつという間に終わってしまう。七月からは広報紙の発行も控えており、気持ちは焦るが仕事はなかなか前に進まない。

しかし、報道機関を通じての情報発信がキャンプ地として名乗りをあげた全自治体の大きな目的でもあつたのだから、有難いことである。

今や、中津江村は日本で最も有名な村と言われるようになり、キャンプが大成功であつたと評価する人も多い。

事前の準備、キャンプ期間中と、かつて経験したことのない多忙な日々を過ごしたが、このイベントに関わらせていただいたことで多くの素晴らしい方と出会い、貴重な経験をさせていただいた。また何よりもキャンプ推進本部事務局に在籍した期間中、広報「なかつえ」の発行をはじめ、私が担当する業務を引き継いだ総務課の皆に感謝したい。